

通告番号 番

令和 3 年 8 月 27 日 午 前  
時 分 受 領  
後

氏 名 小田桐 たかし ㊟

流山市議会議長 森 亮二 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 3 回 定 例 会 に お け る 一 般 質 問 を 下 記 の と お り 通 告 し ま す 。

質 問 事 項	要 旨 (質意を明確、具体的に)
1 教育行政について	(1) 北海道旭川市内での女子中学生いじめ凍死事件をめぐる、被害者親族が、当時在籍していた中学校の教頭から、「10 人の加害者の未来と、1 人の被害者の未来、どちらが大切ですか。10 人ですよ。1 人のために 10 人の未来をつぶしていいんですか。どちらが将来の日本のためになりますか。もう一度、冷静に考えてみてください」という趣旨の発言があったと報道されていることについて、教育長の見解を問う。
2 市長の政治姿勢について	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について、対策本部設置から一年半余が経過するもとの、市長としてどのように捉えているのか。また、今冬を見通し、どのような取り組みを行うのか見解を問う。 (2) 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗はどこまで進んだのか。ワクチン接種対象年齢の市民で希望する方が安全かつ迅速に接種するために何が必要なのか。特に、子どもに関わる業務従事者等への新型コロナウイルスワクチン接種が重要との専門家の提言を踏まえれば、保育士や教職員、学童支援員等に従事し、かつワクチン接種を希望する職員への接種を加速化すべきだがどう捉えているのか、見解を問う。 (3) 通学路の安全対策に関して政策的優先順位について、市長の見解を問う。
3 子育て支援策について	(1) 千葉県議会において、管轄人口 140 万人に達する柏児童相談所を分割し、東松戸駅近くの松戸市有地に 2026 年度新設するための基本設計費等を盛り込んだ 6 月補正予算が可決した。柏市立児童相談所の設置方針も踏まえれば、県立柏児童相談所の管轄は野田市、流山市、我孫子市の 3 市 48 万人となり、施設や敷地は狭隘で、施設の老朽化も激しく、相談件数の増大や一時保護施設における定員超過の常態化などを踏まえれば、県と 3 市の協働はもとより、千葉県市長会会長として率先した取り組みが必須だが、市長の見解を問う。 (2) 千葉県知事は選挙公約で「市町村と共同で学校給食無償化に取り組む」としていることについて、市長としてどう捉えているのか。また千葉市では、第 3 子以降の給食費無償化を来年 1 月からの実施を目指し準備に入っており、千葉県市長会会長として率先して範を示す立場から、本市でも実施に向けた本格的な準備をいよいよ開始すべきと考えるがどうか。 (3) 子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づき、子どもの貧困対策推進計画を千葉県は、令和 2 年度から 5 年間の新たな計画を策定した。また松戸市や柏市でも計画が策定されており、本市でも策定に向けた事前準備を始めるべきと考えるがどうか。